



— 1 —

第12回バングラデシュ視察ツアー

2015
5/13~19

バングラデシュ、自発性への始まりになるか

伊藤由紀子(理事)

5月13日から19日までバングラデシュを訪問。栗原弘美代表理事、中野隆一副代表、伊藤由紀子理事に加え、今回はよしだひろちか理事と香港の協力サポーター、ケルビンさんが参加。刺激的な訪問に。飢餓の終焉を目指す2021年まであと6年しかない今、国の飢餓をなくすために何を与えるのかの動機づけを目的に、現地の裕福層向けに初めて2時間の特別講演会を開催。こころのビタミンの究極のお節介ぶりを発揮し、歓迎されました。ハンガーフリーワールドリーダー向け

セミナーでも「与える」がテーマに。特に女性達に新たな貢献への意欲が見られ、これからが楽しみ。

カリガンジでも施設の充実に加え、歓迎会で先生たち自らが英語でプレゼンするなど思わぬ成果にびっくり。自発性がどんどん起きることを願う訪問でした。



▲こころのビタミンが支援している職業訓練センター



▲到着を歓迎される栗原弘美代表理事一行



▲女性達の新たな貢献の意欲がめざましい



▲セミナーの様子(一番左がケルビンさん)



▲職業訓練センターの人達と記念撮影

自分から与える生き方で、必ず人生は変わる

よしだひろちか(理事)



▲よしだひろちかさん

バングラデシュに行ってきました。現地の人たちに「自分から与える生き方で、必ず人生は変わる」と伝え続けた栗原弘美さんのセミナーは感動そのものでした。小学校の子ども達や、自立支援を行なっている村の女性の人たちの目がキラキラしていたのが、とても嬉しかったです。

皆さんが支援していただいているお金は、現地の人たちの「希望」という、かけがえのない笑顔につながっていました。戦後70年。私たち日本も貧しい時があり、諸外国のたくさんの人たちの援助があって、今の自分の命へとつながったのかもしれません。

どうぞ誇りを持ってください。皆さんの出してくださったお金は生きたお金として、たくさんの人たちの命の下支えと成っているのです。

6月13日 バングラデシュ視察ツアー報告会(田町スクエア)



▲伊藤由紀子さん

6月13日にバングラデシュ視察ツアー報告会を開催。メンバーの一人でもある伊藤由紀子さんを総合司会に、和やかで、時に笑いの起こる雰囲気の良い中で行われました。

今回の視察ツアーで新しい試みとして、セミナーの前にハンガーフリーワールドの活動を知らなくて自分達の国の飢餓や貧困に触れたことがない人達に向けた2時間枠の特別講演会を開催しました。そこで国に影響のある政府の人達、弁護士、社会福祉士、教師などに向けて栗原弘美代表理事がビジョン心理学を取り入れながらハンガーフリーワ

ルドの活動を伝えました。ここで感銘を受け、来年はセミナーを受けたいという人もありました。

「飢餓に苦しんでる国の人達が、自分の国のためにお金をしたり投資をしたりエネルギーを注いでこそ、その国の飢餓・貧困が終わるのだ、ということにもう一度立ち戻ってやって行こうと思う」と栗原弘美代表理事の言葉。「皆さんは自分達の国に何をしていますか?自分達が立ち上がって自分達の国を何とかして行きましょう」ということを提案した視察ツアーとなりました。



『OSK おせっかい』と『喪失回復プログラムのご紹介』

～OSKで「おせっかい心」を肯定しよう! こころのビタミンの理念～

磯ヶ谷ふき子(理事)



▲磯ヶ谷ふき子さん

あなたはおせっかいな人ですか?ずっと私は自分の中のどうしようもなくおせっかい心を恥ずかしい思っていました。おせっかいをしたい気持ちと相手に嫌がられないかという葛藤で何もできずに後悔ばかりしてました。2010年に栗原弘美代表理事がOSK講座でレクチャーしてくださったことで、随分とOSKを楽に行動に移せるようになりました。OSKとは「おせっかい」のこと。困っている人や、元気がない人に思いきって、おせっかいをしようというこころのビタミンの中心にある考え方です。やりすぎたら謝ればよいという精神で、現代社会において人と人との絆を創りだそうという試みです。自分のいる日常の場所で自分の周りにいる人を気にかけて、助けを求める人に対して手を差し伸べるちょっとした勇気を持つこと、それが貢献の意識です。

OSKの活動としては、「私に出来る事はありますか?」と声をかける、話を聞く、電話をかける、食事やお茶に誘う、元気のない人にはまず食べさせる、家を訪ねるなどの方法があります。OSKは究極の気配りです。

OSKは「すべての人がこころの相談相手を持つそしてすべての人がこころの相談相手になる」というこころのビタミンが目指すところの礎になっています。きずなの薄いこの時代だからこそ、あなたのOSKが必要とされています。あなたのおせっかいが世界を救います!

必要な方に受けて頂きたい「喪失回復プログラム」のご紹介。ご自身のご両親や、配偶者やお子様など身近な大切な方を亡くす体験は、誰もがいつかは体験する哀しい出来事です。その悲しみや喪失感を癒すために、こころのビタミン研究所の母体であるビジョナダイナミクス研究所主催の指定セミナーに無料で参加することが出来ます。

以前「喪失プログラム」という名称で会員限定だったサービスが、名称を「喪失回復プログラム」に改め、会員以外の方にも受けていただけるようになりました。身近な方で対象になる方がいらしたら、是非ご紹介ください。

*このプログラムにご参加いただくには、電話による事前オリエンテーションの参加、必要書類の提出、亡くなった肉親の親等や時期などいくつかの必須条件があります。